

英語グループ 教授 岡崎 弘信																
研究テーマ：英語リスニング、リーディングに関する e-learning 教材の開発研究 研究の特徴：学習者個々の弱点を洗い出し、弱点となるその因子を集中的に矯正することで英語力の向上を図る e-ラーニングプログラムを開発し、英語学習の最適化を実現する。																
研究紹介： リーディングが弱い者もあれば語彙面に弱点がある者もいる、また基本的な音さえ聞き取れない者など、学習者個々の英語力は千差万別であり、たとえ TOEIC 等客観テストの点数がわかったとしてもその改善方法が判然としないのでは、学習者にとって幸せなことではない。 このような課題に対して岡崎は、科学的に改善方法を明示できるよう、独自の e-ラーニングシステムの開発に組んできた。例えば TOEIC のリスニングスコアが伸びない学習者に対して単に「リスニングが弱いので、リスニングの勉強をしましょう」と漠然と指導するのではなく、学習者に対してリスニングが弱い理由を具体的に指摘し（たとえば「リエゾンと消える h が他の音素に比べてかなり聞き落とされている」など（下図）、学習（治療）の必要性を納得させた上で、弱点となるその因子を集中的に矯正することにより、リスニング力の向上を図るプログラム PLIMA(your Personal Listening Manager)の研究開発。																
弱音 破裂音 リエゾン 消えるH TH音 短縮 単語総数 <table><tr><th>弱点</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>弱音</td><td>35.9</td></tr><tr><td>破裂音</td><td>60.5</td></tr><tr><td>リエゾン</td><td>26.1</td></tr><tr><td>消えるH</td><td>11.1</td></tr><tr><td>TH音</td><td>63.6</td></tr><tr><td>短縮</td><td>30.8</td></tr><tr><td>単語総数</td><td>59.6</td></tr></table> また個々のレベルに応じた速読・多読練習が可能なリーディング用プログラムや効率的な英語学習のための最適化の研究にも取り組んでいる。	弱点	割合 (%)	弱音	35.9	破裂音	60.5	リエゾン	26.1	消えるH	11.1	TH音	63.6	短縮	30.8	単語総数	59.6
弱点	割合 (%)															
弱音	35.9															
破裂音	60.5															
リエゾン	26.1															
消えるH	11.1															
TH音	63.6															
短縮	30.8															
単語総数	59.6															
研究業績（2015 年度以降） ・査読付論文：3 件（学術誌 2、国際会議プロシーディング 1） ・査読無論文：4 件 ・著書：1 件 ・学会報告等：10 件（国内 6、国際会議 4） ・競争的研究費：科研費 4 件（基盤 B 代表 1・分担 1、挑戦的萌芽代表 1、基盤 C 分担 1） ・特許：3 件（取得 1、出願 2）																
その他 地域貢献活動として、毎年高大連携、隔年で公開講座を実施。																